



# つきやま

暑い 10 月でした(真夏日 2 日・  
夏日 19 日)(10/28 現在)

## 「実体験から感じること」

校長 内田 繁樹

10 月 23 日、全校の子供たちが体育館に集まって、打楽器を中心とした音楽グループ「パーカッション Woods」による音楽鑑賞教室を行いました。クラシックの曲や日本の童謡、子供たちがよく知っているアニメの曲などの演奏を聴いたり、メンバーの方とリズム遊びをしたり、あっという間の 1 時間でした。お礼の言葉では、6 年生の代表児童が「チームワークの大切さを感じた」と、学校全体で盛り上がっているスポーツ大会につながるような素敵な言葉を言ってくれました。



さて、音楽鑑賞教室は、コロナ禍の影響もあり、全校児童が集まって行うのは、久しぶりのことでした。間近で演奏される曲に子供たちは、目や耳、身体と心で直接感じていました。自然と手拍子がわき、体が動き、歌を口ずさむ姿が体育館全体で見られました。音楽の授業でも CD やビデオで曲を聴くことはありますが、ここまでの姿は、なかなか見られません。生の演奏(体験)だからこそ、心が動き、表現したくなったのではないのでしょうか。

体験活動には「直接体験」と「間接体験」や「模擬体験」があります。今は、インターネット(SNS)やテレビ等を介して感覚的に学び取る「間接体験」や、シミュレーション等を通じて模擬的に学ぶ「模擬体験」が圧倒的に多くなっています。インターネット(SNS)やテレビ等には良い面もありますが、小学生の発達段階においては注意が必要な面もあります。

つきやま 9 月号でも「～学校は、友達と仲良くしたり、力を合わせたりする勉強をするところ～」と書きました。人と人との関わり合いは、まさに「直接体験」において、一番成長が期待できるものです。

子供たちは、スポーツ大会に向けて休み時間も使い、話し合ったり練習したりしています。その中で、チーム分けや練習方法等で意見が合わなかったり、練習より遊びたいと主張する友達がいたり、全てが上手くいくわけではありません。むしろ、そうでない方が、多いです。中には、けんかしてしまうこともあります。しかし、この「上手くいかないから、どうしよう。みんなが納得できるように何とか考えよう。」という、直接体験(実体験)の中で得た知識や考え方が、予測不能なこれからを生きる子供たちの「生きる力」の基になると考えています。

学校では、日々、子供たちが上手に合意形成(折り合いを付ける)し、意欲的に活動できるように職員一同子供たちを支援・指導していきます。ご家庭・地域でも、経験が豊富な大人(保護者・地域の方)が、お子さんの話を冷静に受け止めていただき、お子さんがよりよく成長するためにアドバイスしていただければと思います。今後とも保護者・地域の皆様の変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。

## ◇ 萼小スポーツ大会に向けて ◇

## ◆◆11月の行事予定◆◆

来月7日に迫ったスポーツ大会に向けて、子供たちは一生懸命練習しています。竹や大玉などを早く上手に運ぶにはどのようにしたらよいか、もっと強い力を出すには、もっと早く回るためにはどうすればよいか、試行錯誤したり、意見を出し合って工夫したりするなど、仲間と折り合いを付け、協力しながら練習に励む姿は、見ていて微笑ましいものです。また、5・6年生は係会を行い、当日の役割や流れを確認したり、用具を準備したり、運営面の準備も進めています。

### 練習の様子



### 係会の様子



## ◇ PTA 奉仕作業 ◇

10/26には、保護者と教職員あわせて80名で校地の環境整備を行いました。伸びた雑草の刈り払いや側溝の砂上げ、運動場の整地などを行っていただき、学校は見違えるようにきれいになりました。スポーツ大会を前に、子供たちが気持ちよく学べる環境づくりにご協力くださった皆様、ありがとうございました。



学校ホームページには、授業や行事での児童の様子、地域の方との連携等について、日々の情報を掲載しています。各種おたよりもご覧いただけます。  
(<http://nirayama-sho.izunokuni.ed.jp>) 右のQRコードもご利用いただけます。

